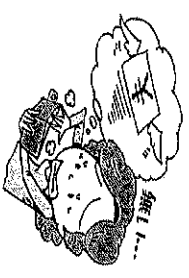
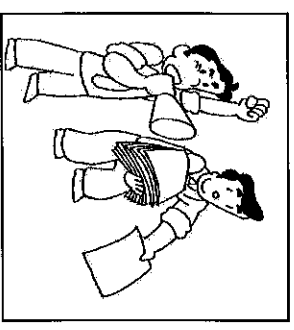


# 全国 検数労連

〒144-0052 東京都大田区蒲田 5-10-2 日港  
 福会館 5階  
 Tel 03(3733)5621 Fax 03(3733)5622  
 メール torren@kensu.jp  
 ホームページ <http://www.kensu.jp/>  
 全国検数労働組合連合  
 書記局



11月2日 (水) 14:00~14:30 第一回 検数労連22冬季一時金交渉  
**22冬季一時金要求書提出！諸物価高騰で家計は火の車。**  
**両協会は今こそ要求に沿った回答で従業員の生活を守るべき！**

【22冬季一時金要求確立】  
 10月27日・28日に検数労連代表者会議が開催され22冬季一時金に對する議論を行いました。各地域から出された意見や要望では、不安の影響で生活必需品のほとんどが値上げされ、従業員の生活はますます苦しくなっています。今冬季一時金闘争は生活防衛闘争と位置付け、乗率を重視した回答と地域間格差の解消を前面にたたきたいを展開すべきとの意見が多数されました。また、回答内容如何によつては春闘での年度末一時金要求も視野に入れるべきです。

【第1回一時金交渉】  
 11月2日(水)第一回検数労連22冬季一時金交渉で、組合は要求書提出。続けて要求に対する趣旨説明を行いました。世界の船会社は競争で利益を拡大させている。サフナイチエーンの不慮による運賃の上昇で利益を拡大させている。利益を拡大させているユニバーシティ。や船会社から適正料金を吸収する

ことが労使の喫緊の課題となつていくこと。全国の職場の思いとして、諸物価高騰のなか、一時金は目録賃金をカバーするための生活原資として最も重要な労働条件の一つであることから、従業員のモチベーションの維持向上のためにも要求に沿った「安定した一時金が求められる」との説明を行いました。

【組合主張】  
 要求書に対する趣旨説明を行った後、組合は次の通りの主張を行い、両協会に組合要求に沿った回答の構築を求めます。

2022年 11月 2日  
 全国検数労働組合連合  
 中央執行委員長 瀬戸 修

## 2022年冬季一時金要求書 (要旨)

2022年冬季一時金および諸労働条件の改善について、下記の通り要求いたします。

### 記

1. 冬季一時金について
  - (1) 要求方式要求額について
    - ① 日 検  
 (本給十家族手当) × 3. 00ヶ月十一律10万円+都市加算とすること。
    - ② 全日検  
 職員A  
 (本給十家族手当) × 3. 00ヶ月十一律10万円+都市加算とすること。  
 職員B  
 (本給十地域年齢手当) × 3. 00ヶ月十一律10万円+都市加算とすること。
    - ③ 都市加算の支給区分と金額については、別表の通りとすること。
    - ④ 職員以外の従業員は、職員に準じて支給とすること。
  - (2) 支給条件について
    - ① 長期病欠者に対して、各々の支給基準の70%を支給とすること。
    - ② 通勤災害による休業者についても労災休業者と同ー取り扱いとすること。
    - ③ 一切の協会査定は行わないこと。
    - ④ 転勤者の取り扱いについては、計算期間中のそれぞれその所属地の地区区分に基づき日割計算、または12月1日現在所属地の地区区分のいずれか有利な方を適用すること。
  - (3) 2022年12月9日 (金) とすること。

### 2. 諸要求について

- ① 厚生年金保険料の労使負担割合の改善をはかること。
- ② ワクチン接種の当日および翌日は『特別休暇』とすること。

以上

次回:第2回22冬季一時金交渉  
**11月8日(火)14:00~**  
**次回交渉では、両協会の人員構成や平均勤続年数などを明記した基礎資料の提示を求めていきます。**

構築を求めました。不安の影響では直接的に困っている従業員は少ないと思つが、最近の急激な物価高騰の影響で困っている従業員はたくさんいる。そのような状況を考慮した回答構築を求めます。物価高騰により、今まで以上に家計は火の車となっており、このままでは離職者多数出てくるのではと懸念している。検数労連代表者会議の中で、一時金とは別に『生活支援手当』を支給してほしいといった切実な声も上がっていることから、要求に沿った回答の構築を求めます。生活必需品の値上げは、北海道から沖縄まで変わらなない。その意味では今冬季一時金での極端な地域間格差回復は認められるわけにはいかない。特に全日検ではこれまで大幅な格差回復をしてきていることから、今一時金での是正を強く求める。